

# 病理組織標本作製のご案内

下記案内に従い、遺伝子パネル検査用の病理組織標本をご準備ください。

## ご準備いただく病理組織標本・検体

① 核酸抽出・解析に使用する検体/標本： 未染標本か、FFPE ブロックのいずれか

・未染標本スライドガラス 5 $\mu$ m 厚（ノンコートガラス）

検体サイズが 25mm<sup>2</sup>（5×5mm） 以上の場合： 10 枚

検体サイズが 25mm<sup>2</sup>（5×5mm） 以下の場合： 15～20 枚

・FFPE ブロック 1 個

② HE 標本スライドガラス 1 枚

---

### FFPE ブロック検体/標本 選択時の注意事項：

- \* 初診時にお送りいただいた品質評価用の HE 標本と、同じ病理番号・枝番号の FFPE ブロックや未染標本スライドをお送りください。
- \* 腫瘍含有率が高く、炎症、壊死をなるべく含まないブロックや標本を選択してください。
- \* 生検検体で、検体サイズが小さい場合、可能であれば FFPE ブロックでのご提出が望ましいです。理由は、検体量が少ないため、解析に必要な DNA 収量を確保するため追加標本を提出するなどの対応を要する場合があります。ただし、この場合、標本作製によりブロックをすべてつかいきってしまう可能性があることを、あらかじめご了承ください。
- \* お預かりした検体、標本の残りは、検査終了後、郵送にてご返却させていただきます。
- \* HE 標本に関しては、品質評価時に 1 枚お預かりしておりますが、今回お送りいただく未染色標本と一致していることを確認するため再度送付をお願いしております。何卒ご了承ください。

### 未染標本スライド作成時の注意事項：

- \* 新しいマイクロームブレードをご使用ください。
- \* ウォーターバスは洗浄し、新たに水をはった状態でご使用ください。
- \* 新しい手袋をご着用の上、作業を行ってください。
- \* 進展や乾燥のための加熱は避けてください。